

遺族「声上げねば後悔」

相模原殺傷で手記、障害者への理解訴え

相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」で016年7月、入所者19人が殺害された事件で息子(当時41)が犠牲となった遺族が共同通信に手記を寄せ、「会いたいという思



は強くなるばかりです」心境を記した。26日発売

生から2年4カ月。裁判でなぜ事件が起きたのか明らかになることを望み、「障害者にもっと目を向けて」と訴えている。

め相模原市に転居した。近所の人に見守られながら、幼稚園から養護学校の高等部まで通った。「支えてい

- 相模原障害者施設殺傷事件で犠牲となった当時41歳の男性(イラスト・田村角)
- 相模原障害者施設殺傷事件で、息子が犠牲となった遺族が心境を記した手記

相模原障害者施設殺傷事件 2016年7月26日未明、相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」で入所者の男女19人が刃物で刺され死亡、職員2人を

「頑固でやさしく、ひょうきん、争いごとほ好まず避ける」性格で、動物やダンス、アニメが好き。大切にしていた「ドラゴンボール」のDVDをよく着てい

「頑固でやさしく、ひょうきん、争いごとほ好まず避ける」性格で、動物やダンス、アニメが好き。大切にしていた「ドラゴンボール」のDVDをよく着てい

「頑固でやさしく、ひょうきん、争いごとほ好まず避ける」性格で、動物やダンス、アニメが好き。大切にしていた「ドラゴンボール」のDVDをよく着てい

好奇心旺盛、かけがえのない息子

当初は手記を公表するつもりはなかった。「亡くなったというのを否定したいの、周りから何か言われれば、亡くなったということを押付けられているみたいで、余計落ち込んでしまう」からだ。そっとし

好奇心旺盛で、ダンスが好き。相模原市の知的障害者殺傷事件で息子(当時41)が犠牲となった遺族の手記には、人柄や思い出のエピソードもつづら

好奇心旺盛で、ダンスが好き。相模原市の知的障害者殺傷事件で息子(当時41)が犠牲となった遺族の手記には、人柄や思い出のエピソードもつづら

好奇心旺盛で、ダンスが好き。相模原市の知的障害者殺傷事件で息子(当時41)が犠牲となった遺族の手記には、人柄や思い出のエピソードもつづら